

「次期本庄市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）」に対する意見と市の考え方

「次期本庄市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）」に対するパブリックコメントを実施したところ、貴重なご意見をいただきありがとうございました。提出された意見と市の考え方を以下のとおり公表いたします。

1. 意見等の募集期間：令和元年12月5日（木）～令和2年1月6日（月）

2. 意見等の受付人数： 1人 5件 （提出方法の内訳：電子メール1人）

3. 提出された意見及び市の考え方

	提出された意見	提出された意見に対する市の考え方
①	【14ページ（4）雇用対策】 障害者に対する就業支援事業を実施すべきと考えます。	障害のある方への就労支援については、就労支援センターやハローワークとの連携等により、就労に向けての相談支援や職業紹介、職場定着指導等の取組を行っております。ご意見を踏まえ、（4）「雇用対策」に、障害のある方への就労支援に関する記載を追記するとともに、具体的事業として「障害者就労支援」を追記いたします。
②	【16ページ（8）保育サービスの充実】 病後児保育についても記載すべきと考えます。	「病児保育事業」の表記については、病後児保育も含む事業の総称となっています。ご意見を踏まえ、「病児保育事業」の文言の後に「(病児対応型、病後児対応型、体調不良児対応型)」を追記いたします。
③	【19ページ（18）救急医療体制の整備の推進】 とても望ましい施策だと思いますが、市は消防本部の救急隊に関する権限を有していないため、市と関係自治体との権限を確認しつつ連携して推進していくべきだと考えます。	ご指摘のとおりです。今後も関係自治体・機関と連携を図りながら、救急医療体制の整備に向け、調査研究を行って参ります。

	提出された意見	提出された意見に対する市の考え方
④	<p>【20ページ(21) 多文化共生に向けた人材育成】 日本英語検定協会の英検に限らず、国連英検など高等学校卒業程度認定試験の英語科目の免除になる検定も対象にしてはどうでしょうか。</p>	<p>この事業は、国の教育振興基本計画等に掲げる目標を受け、中学校卒業段階のレベルである英語検定3級程度以上の英語力を持った生徒の割合が50パーセント以上となることを目標とし、生徒の英語力向上のため、実施しているものです。現在のところ、他の検定に対象を広げる予定はございませんが、いただいたご意見を参考にするとともに、各試験の受検状況等を見ながら検討を行って参ります。</p>
⑤	<p>【28ページ(45) 新幹線の活用】 新幹線の通勤利用による交付額の加算でなく、継続的な交付としたらどうでしょうか。また、通学利用にも対象を広げたらどうでしょうか。</p>	<p>本市では、新幹線本庄早稲田駅立地の利便性を活かし、新幹線の活用による具体的事業として「住まいる応援金」制度を実施し、移住・定住の促進に向けた施策を展開しています。その中で、新幹線の通勤利用による交付額の加算を行い、新幹線を利用して遠距離通勤される方に対する支援を行っております。現在のところ、その継続的補助、通学利用への対象拡大の予定はございませんが、いただいたご意見を参考にするとともに、人口減少・少子高齢化の克服に向け、より効果的な施策の調査研究を行って参ります。</p>